

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第4部門第1区分
 【発行日】令和5年3月24日(2023.3.24)

【公開番号】特開2022-112134(P2022-112134A)
 【公開日】令和4年8月2日(2022.8.2)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-140
 【出願番号】特願2021-7812(P2021-7812)
 【国際特許分類】

E 0 5 F 1 5 / 4 1 (2 0 1 5 . 0 1)

B 6 0 J 1 / 1 7 (2 0 0 6 . 0 1)

B 6 0 J 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 2 P 2 9 / 0 2 8 (2 0 1 6 . 0 1)

10

【FI】

E 0 5 F 1 5 / 4 1

B 6 0 J 1 / 1 7 A

B 6 0 J 1 / 0 0 C

H 0 2 P 2 9 / 0 2 8

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年3月15日(2023.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

開閉部材(1)を開閉させるモータ(M)を制御するとともに、前記開閉部材を閉動作させる際に~~負荷情報を取得して当該負荷情報に基づき挟み込みが発生したか否かを判定する制御部(8)を備えた開閉部材制御装置(2)であって、~~

30

前記制御部は、前記開閉部材を閉動作させる際に予め記憶した駆動電圧を前記モータに供給し、取得した前記負荷情報が変動しても挟み込みが発生したと判定するまでは予め記憶した駆動電圧の供給を維持し、

前記負荷情報は、前記モータの回転速度、前記モータに流れる電流値、及び前記開閉部材の移動速度のいずれかである開閉部材制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【請求項4】

前記制御部は、前記開閉部材の駆動時に取得した前記負荷情報に基づいて、次回以降の駆動時に利用する駆動電圧を記憶する請求項1から請求項3のいずれか1項に記載の開閉部材制御装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

50

前記制御部は、前記開閉部材を開動作させる際に巻き込みが発生したか否かを判定するとともに、前記開閉部材を開動作させる際に予め記憶した駆動電圧を前記モータに供給し、取得した前記負荷情報が変動しても巻き込みが発生したと判定するまでは予め記憶した駆動電圧の供給を維持する請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の開閉部材制御装置。

10

20

30

40

50